

創価大学 交流大学からの学部編入学試験

2024年度 募集要項

1.学部・学科と募集人員

以下の学科の3年次への編入学を募集する。

学 部	学 科	募 集 定 員
経 済 学 部	経 済 学 科	10名
経 営 学 部	経 営 学 科	18名
法 学 部	法 律 学 科	若 干 名
文 学 部	人 間 学 科	18名
教 育 学 部	教 育 学 科	若 干 名
	児 童 教 育 学 科	若 干 名
理 工 学 部	情 報 シ ス テ ム 工 学 科	若 干 名
	共 生 創 造 理 工 学 科	若 干 名

○全学科合計で最大50名まで

・各学部の English Medium Program（英語で学修するコース）、看護学部、国際教養学部の募集は行わない。

・特定の学科に応募者が集中した場合、推薦校を通じて第2希望を聴取するなど事前調整を行う可能性がある。

2.編入学までの日程

出願期間：2023年3月15日（水）～2023年4月15日（土）必着

合格発表：2023年5月末

※ 合格発表は、願書に記載されるメールアドレス宛てに通知。

入学前教育：2023年9月～2024年1月

※ 創価大学別科特別履修課程で入学前教育を受講すること。なお、入学前教育の成績により編入学時期の延期または編入学の許可を取消すことがある。2月～3月は学年末休業期間となる。

編入学：2024年4月より各学部の3年次に編入

(2022年度の制度、カリキュラムが準用される)

3.出願資格

創価大学の編入学を申請する学生は、以下の条件を満たしていること。

(1) 交流大学での学習歴


- ・ 創価大学に編入学する時まで、在籍する交流大学の学士課程に2年間以上在籍し、在籍する交流大学において卒業に必要な単位の半分以上を既に修得済みであること。

(2) 語学能力

- ・ **出願時点で**日本語能力試験N2(またはそれ以上)を取得している、またはJPT日本語能力試験600点以上の成績証明書を提出できること。

日本語能力試験N2合格以上の証明書が提出できない場合は、所属大学からN2レベル合格以上の語学能力を有することを証明する文書と当該学生が履修した日本語教育関係科目のシラバスを提出すること。

4.出願書類

No.	提出書類	作成に当たっての注意事項	提出方法
1	入学願書	・ 第1希望、第2希望の2学科まで出願することができる。	WEB出願ページから入力
2	顔写真	 ・ 最近3か月以内に撮影した顔写真(タテ4cm×ヨコ3cm)。 ・ 上半身、正面を向いたもの、無帽・無背景のもの ・ WEBからアップロードしたもの は別に2枚提出すること。 ・ 写真裏面には氏名を記入すること。	原本2枚を郵送
3	「出願理由および学習計画」	第1希望、第2希望の出願する学科ごとにそれぞれ「出願理由および学習計画」を作成すること。 教育学部に出願する場合はそれぞれ専用の用紙に記入すること。 記入に当たっては、下記の「出願理由および学習計画」についての項目を確認して作成すること。	WEB出願ページから入力
4	日本語能力証明書	日本語能力試験(N1またはN2)の「認定結果及び成績に関する通知書」、またはJPT600点以上の成績証明書を提出すること。 語学能力証明書の提出が困難な場合は、所属大学からN2合格以上の語学能力を有することを証明する文書と履修した日本語教育関係科目のシラバスを提出すること。 志願者には、オンラインによる口頭面接を行う。	WEBにアップロードした後、原本を郵送
5	各国統一試験の結果	在籍する交流大学に入学する際に受験した各国の統一試験の結果。 原本の提出が難しい者は、統一試験の結果を書き出した書面に、在籍大学の確認印を押印し提出すること。	WEBにアップロードした後、原本を郵送
6	大学の在籍経歴の証明書	所属大学の在籍期間を証明する書類	WEBにアップロードした後、原本を郵送

7	大学の成績証明書	所属大学が発行した成績を証明する書類	WEB にアップロードした後、 原本を郵送
8	取得した単位の基準となる資料	所属大学の卒業に必要な総単位数、各科目の総授業時間数が分かる資料	WEB にアップロードした後、 原本を郵送
9	推薦書 (指定用紙あり)	所属大学の教員など、出願者の授業を直接受け持った方に記入を依頼すること。	指定の用紙をダウンロード、 推薦者から受け取り後、 原本を郵送
10	経費支弁書 (指定用紙あり)	入学後の学費や生活費について、支弁の裏付けとなる書類（銀行残高証明書等）を添付し、提出すること。 ※詳細は後述の「経費支弁」を参照。	指定の用紙をダウンロード、 WEB にアップロードした後 原本を郵送
11	検定料支払確認書類	WEB 出願システムにて出願時に、検定料 20,000 円をクレジットカードにて支払うこと。 (詳細は、後述「検定料」を参照)。	—
12	日本留学試験のスコア (任意)	日本留学試験を受験した者は、提出すること。 ・ 経済、経営、法、文、教育学部の志願者は「総合科目」 ・ 理工学部の志願者は「数学コース 2」	WEB にアップロードした後、 原本を郵送
13	学費減免申請書 (指定用紙)	学費の減免を希望する者は必ず申請書を提出すること。 なお、家計支持者の収入を証明する書類の原本を併せて提出すること。(詳細は後述の「8. 奨学制度」を参照)	指定の用紙をダウンロード、 WEB にアップロードした後 原本を郵送

● 「出願理由および学習計画」について

「3つの方針」（「学生受入れ方針」「教育課程編成・実施方針」「学位授与方針」）を各学部のHPにて確認し、趣旨をよく理解した上で「出願理由および学習計画」を記入すること。なお、教育学部は専用の用紙があるので注意すること。

経済学部：<http://www.soka.ac.jp/department/policy/economics/>

経 営 学 部 :

http://www.soka.ac.jp/department/policy/business_administration/

法 学 部：<http://www.soka.ac.jp/department/policy/law/>

文 学 部：<http://www.soka.ac.jp/department/policy/letters/>

教育学部：<http://www.soka.ac.jp/department/policy/education/>

理工学部：<http://www.soka.ac.jp/department/policy/engineering/>

注1 全ての書類は日本語で作成すること。提出書類がその他の言語の場合は、日本語の翻訳を添付すること。

注2 原本を提出した書類について、返却を希望する場合は、返却を希望する書類と返送先住所とを記載した書面を同封すること（封筒及び切手類は不要）。原則として選考終了後に返却を行う。

※提出書類は、WEB 出願ページにアップロードしてから、創価大学へ郵送すること。

提出書類送付先

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236
創価大学国際部国際課 入試係
Tel: 042-691-8200 Fax: 042-691-9456

5.経費支弁

経費支弁書については、所定の用紙に経費支弁者が署名をし、以下の要領により経費支弁の裏付けとなる書類を添付すること。なお、本書類は在留資格の申請が必要な際にも使用するものとなるため、必要書類をよく確認し、準備すること。

- 本人が経費を支弁する場合
 - ・本人名義の預金残高証明書（一定額以上証明できるもの）
- 本人の親族が本国から送金して支弁する場合
 - ・送金者名義の預金残高証明書（一定額以上証明できるもの）
 - ・在職証明書
 - ・年収証明書
 - ・本人との関係を証明する文書（戸籍謄本、住民票、親族公証書等）
- 奨学金で支弁する場合
 - ・奨学金給付額、給付期間、給付機関が明記された奨学金給付証明書（支給額の合計が年間で一定額程度になるもの）
- 日本在住者が経費を支弁する場合

- ・総所得金額の記載のある課税証明書（確定申告控えの写し、源泉徴収票等）
 - ・在職証明書（自営業の場合は登記簿謄本の写しまたは営業許可証等）
 - ・住民票
 - ・知人、友人の場合、本人との関係がわかる資料（一緒に写っている写真など）
- ※学費減免（「奨学制度」参照）を同時に申請する場合、その審査と平行し経費支弁能力を審査する。預金残高証明書等で証明する金額は下記を参照すること。

学費減免申請する場合：100万円程度

学費減免申請しない場合：150万円程度

6.選考方法

書類審査により選考する。

7.検定料

【検定料の支払い方法】

検定料：20,000円

※WEB出願システムの流れに沿って、クレジットカードで支払うこと。

※支払に使用するクレジットカードは、志願者以外の名義でも可とする。ただし、代理人が手続をする場合でも「志願者情報」には必ず志願者本人の情報を入力すること。

※検定料の支払が確認できない場合や検定料の支払後にクレジットカード決済がキャンセルされた場合は、出願資格を取り消すことがある。

※なお、カードの不具合等、やむを得ず検定料の支払いができない場合は、送金による支払いも可能（手数料は自己負担）。海外送金による支払いを希望する場合は、必ずWEB出願システムを通じて問い合わせのこと。

8.奨学制度

◆編入学後の学部の学費について

外国人入試出願時に、「創価大学外国人学生学費減免奨学金」の申請をすることができる。申請には、家計支持者の2022年1月から12月まで（または最近1年間）の収入を証明する証明書を添付し、所定の「学費減免申請書」を、入試出願書類とあわせて提出すること。学部学費については、家計支持者の収入の金額により以下のとおり学費を減免する。減

免後の金額は別表1を参照すること。

家計収入	減免率
400万円未満	100%減免
400万～800万円未満	50%減免
800万～1000万円未満	25%減免
1000万円以上	減免なし

選考の結果は、合格発表と同時に決定者にのみ通知する。

家計支持者とは、原則として父母の双方を指す。

GPA2.0未満または、1学期あたりの取得単位が15単位を下回った者には減免しない。

通貨変動等、国際経済に大きな変化があった場合には学費減免基準を見直すことがある。

◆入学前教育の奨学金について

学費：

特別履修課程での入学前教育の1学期間の学費については、授業料を20%免除する。

	通常のコ額	減免後の金額
入学金	5万円	5万円
授業料	25万円	20万円

宿舎費：

特別履修課程での入学前教育の1学期間について、本学の寮に入寮する場合は、宿舎費を免除する。

◆編入学後の奨学金

編入学生は、「創価大学牧口記念教育基金会留学生奨学金」に申し込むことができる。

- ・ 牧口記念教育基金会留学生奨学金

第1セメスター 月額3万円（一律）

第2セメスター以降 GPAの高い者から月額5万円、4万円、3万円を支給
GPA2.2未満または、1学期あたりの取得単位が15単位を下回った者には支給しない。

申請手続等の詳細は、編入学後の外国人留学生奨学金ガイダンスにて説明を行う。

<注意事項>

- ・ 原則として他の奨学金との併給は認めない。
- ・ 大学の評判を傷つける不適切な行動などがあった場合、奨学金を取り消す場合がある。
- ・ 本学の他の奨学制度等に変更があった場合、この奨学金制度は変更する可能性がある。

問い合わせ先

創価大学北京事務所

住所 〒100190 北京市海淀区北四環西路9号銀谷大厦2102号

電話 (010) 8216-9391

FAX (010) 8216-9652

Email sokabj@soka.ac.jp

別表 1

経済、経営、法学部

費目	通常金額	100%免除の者	50%免除の者	25%免除の者
授業料	600,000 円	0 円	300,000 円	450,000 円
在籍料	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円
教育充実費	240,000 円	0 円	120,000 円	180,000 円
合計	900,000 円	60,000 円	460,000 円	690,000 円

文、教育学部

費目	通常金額	100%免除の者	50%免除の者	25%免除の者
授業料	620,000 円	0 円	310,000 円	465,000 円
在籍料	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円
教育充実費	240,000 円	0 円	120,000 円	180,000 円
合計	920,000 円	60,000 円	490,000 円	705,000 円

理工学部

費目	通常金額	100%免除の者	50%免除の者	25%免除の者
授業料	900,000 円	0 円	450,000 円	675,000 円
在籍料	60,000 円	60,000 円	60,000 円	60,000 円
教育充実費	260,000 円	0 円	130,000 円	195,000 円
実習費	80,000 円	0 円	40,000 円	60,000 円
合計	1,300,000 円	60,000 円	680,000 円	990,000 円

- ※ 別途、編入学時に入学金 150,000 円、学生会費 9,500 円、保健費等が徴収される。
- ※ 納付期限までに、上記の金額を一括で支払う必要がある。
- ※ 入寮希望の方は、上記の金額に加え、入寮費・舎費を納付期限までに支払う必要がある。
- ※ 入学金、在籍料、学生会費は学費減免の対象外である。
- ※ 学費、寮費は変更する可能性がある。

出願完了までの流れ

- ① 募集要項を確認し、出願書類の準備をする。
- ② Web 出願ページにてアカウントを作成する。
- ③ 出願希望の課程に出願し、出願理由および学習計画を入力する。
- ④ 出願内容を確認し、提出。検定料を支払う。
- ⑤ 各出願書類を PDF 又は JPEG に保存し、Web 出願ページにてアップロードする
- ⑥ 出願書類一式を創価大学国際課に郵送する。

出願の流れについて

